

## 事業計画書

1. 事業名称 「キッズイノベーション」事業  
～子どもとおとなの理科実験・理科工作～  
《新しいアイデアから創造する新たな価値》
2. 実施主体
  - 団体名： 特定非営利活動法人サイエンスシャワー
  - 事業担当課： 松戸市教育委員会 生涯学習本部 企画管理室

### 3. 取り組もうとする課題

我が国が21世紀にも引き続き活力にあふれ、豊かで安全、安心な社会を構築するためには、科学技術のより一層の振興を図り、世界の先頭に立って新しい知識の創造や技術革新を行う「科学技術創造立国」を実現していくことが必要不可欠です。しかし、「児童の理科離れが進んでいる」「学年が上がるにしたがい理科が嫌い」と答える児童生徒が増える」と言われています。このことは、日本の高度な科学技術力を支える教科の一つである理科教育にとって大きな課題です。そのためには、子供たちの知的好奇心と探究心を刺激し、五感を働かせ、体を動かし「実験・実習・観察・創意工夫」とする理科実験を地域（学校）で、科学技術・理科に興味・関心を持っている子どもに、学校終了後、休業（土・日曜日）、長期休業中などに定期的に理科実験・理科工作を行う。また地域の企業の研究者との交流などを行う活動を行うことである。さらに、多くの理科好きな児童を育てるためには、まず、指導者（教員）が理科の楽しさを知ることが大切です。楽しい理科実験を啓発するために、市内の小学校の若い先生方に魅力ある理科実験を体験する場を構築します。

### 4. 事業内容及びスケジュール

#### ・事業内容

理科実験教室 「身近な教材を使って、感動する理科工作・実験」

対象：小学低学年Aコース：1-2年生・Bコース：3-4年生・Cコース：5-6年生。

#### ・実施方法

23年度は 柿ノ木台小学校・理科実験室（既実施校）土曜日、9：00-12：00

Aコース9:00-9:50、Bコース10:10-11:00、Cコース11:10-12:00  
馬橋北小学校・理科実験室（既実施校）土曜日、9:00-12:00

Aコース9:00-9:50、Bコース10:10-11:00、Cコース11:10-12:00  
松戸市立六実中学校・第2理科室 土曜日（既実施校）、13:30-16:20

Aコース13:30-14:20、Bコース14:30-15:20、Cコース15:30-16:20

実験回数：各20回/年（年間、20回実験×3コース×4校=240回実験）

23年度は柿ノ木台小学校、馬橋北小学校、松戸市立六実中学校、（既実施校）と常盤平地域の学校を1校、開講する予定、市内4か所に拡大します。年間延べ人数6000児童を予定しています。

23年4月	準備	各学校長あてに提案書を発送
23年5月	調整	参加希望の小・中学校と詳細な打ち合わせ。
23年5月	実験	各学校で3回（2/20）理科実験を行う
23年6月	実験	各学校で3回（5/20）理科実験を行う
23年7月	実験	各学校で2回（7/20）理科実験を行う
23年9月	実験	各学校で2回（9/20）理科実験を行う
23年10月	実験	各学校で2回（11/20）理科実験を行う
23年11月	実験	各学校で2回（13/20）理科実験を行う
23年12月	実験	各学校で1回（15/20）理科実験を行う
24年1月	実験	各学校で2回（17/20）理科実験を行う
24年2月	実験	各学校で2回（19/20）理科実験を行う
24年3月	実験	各学校で2回（20/20）理科実験を行う
24年3月末	終了	終了(修了証書を授与)

23年8月楽しい理科実験を啓発するために、市内の小学校の先生方に魅力ある理科実験を行う。

## 5. 事業に期待する成果

協働事業として今期3年目に入ります。市内均等化として、第1期(21年度)は、松戸地域「柿ノ木台小学校」、六実地域「六実中学校」の2校で開講し、児童数は延べ1620名が理科実験教室に参加しました。第2期目(22年度)は、新松戸地域「馬橋北小学校」を増やし、3校の参加数は延べ3800人の児童が参加する予定です。特に新松戸地域に関して、理科実験に対する関心が非常に高い。父兄への信頼等が深まり、子どもへの理科実験・講演の活動の輪が広がります。3期(23年度)は常盤平地域を開講し、年間6000人の児童が理科実験に参加する可能性があります。

## 6. 協働の意義

提案者にとって市(教育委員会)との協働により学校施設の確保、学校関係者との信頼・理解、

父兄への信頼等が深まり、子どもへの理科実験・講演の活動の輪が広がります。

市（教育委員会）にとっては協働することによって、生涯教育の一環として、普段学校における理科教育ではできない理科実験や理科工作を行うことで、子どもが科学技術や理科に対する興味・関心を培い、魅力的な身近な教材を使用することにより、子供たちの知的好奇心と探究心を刺激し、五感を働かせ、体を動かし「実験・実習・観察・創意工夫」とする理科実験を構築する。

## 7. 事業実施の役割分担

### ■団体が取り組むこと

身近な教材を使って、感動する理科工作・実験の開発・検証、提案、理科実験の運営管理。

### ■担当課に期待すること

広報活動・負担金・共催（後援）の確保。

## 8. 将来の展望

これらの事業を広く深く発展させるために常盤平地域に1校増やし4つの地域（市内地域均等）で、多くの子どもに楽しい理科実験を体験する機会を作り、さらに、子どもたちの無限な可能性を伸ばすために、社会貢献を進めている企業・業界団体および大学機関とのジョイントを行います。また将来に向けて（協働事業終了後）は松戸市教育委員会生涯学習本部企画管理室との協議のもとで地域4か所（年間延べ8000児童の参加）での理科実験の充実を図り、キッズイノベーションセンターを開講する。具体的な内容は、児童による探求型理科実験。ソフトハードからのロボット制御の開発。子どもによるFMラジオ局の開局を行う予定です。

また新たな事業として、楽しい理科実験を啓発するために、市内の小学校に対して「たのしい理科実験の出張実験」の事業、多くの理科好きな児童を育てるための指導者（教員）の理科実験を体験する事業を計画しています。

## 事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

	（自己資金）	金 額	積算内訳
	提案者	参加費	2,300,000 円
	自己資金合計（a）	2,300,000 円	
	労力換算額計（b）	910,000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	207,800 円	
	資金合計額（d）（a+c）	2,507,800 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項 目	金 額	積算内訳
負担金の交付対象経費	講師謝金	1,128,000 円	講師 1 名/アシスタント 3 名
	広報チラシの印刷	130,000 円	13,000 部×10 円
	ポスターの印刷	60,000 円	100 部×600 円
	消耗費	900,000 円	教材等
	通信費	18,400 円	80 円×230 人×1 回
	児童傷害保険（1年間）	92,000 円	400 円×230 人
	スタッフ傷害保険	54,000 円	1500 円×3 人×12 月
		イベント保険	13,400 円
	対象となる経費合計額（e）	2,395,800 円	
その他経費	交通費	100,000 円	
	スタッフ飲食費	12,000 円	
	その他経費合計額（f）	112,000 円	
	事業費（g）（e+f）	2,507,800 円	収入合計額（d）と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労力換算額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	理科実験内容打ち合わせ 50 回	100,000円	4人×1.0h×50回×500円
	実験準備 50回	450,000円	6人×3h×50回×500円
	企画打合せ	360,000円	6人×6h×20回×500円
	合計 (b)	910,000円	